

# 平成31年度愛別町歳入歳出予算総括表

(単位：千円・%)

会計名	本年度予算	前年度予算	比較	増減率		
一般会計	3,320,000	3,157,000	163,000	5.2		
特別会計	国民健康保険	429,409	442,823	△ 13,414	△ 3.0	
	国民健康保険愛別診療所	154,834	137,049	17,785	13.0	
	後期高齢者医療	51,260	52,524	△ 1,264	△ 2.4	
	介護保険事業	549,536	537,839	11,697	2.2	
	公共下水道事業	358,458	270,449	88,009	32.5	
	小計	1,543,497	1,440,684	102,813	7.1	
	企業会計	簡易水道事業(収益的収支)	153,759	148,719	5,040	3.4
		簡易水道事業(資本的収支)	285,894	275,904	9,990	3.6
		小計	439,653	424,623	15,030	3.5
	合計	5,303,150	5,022,307	280,843	5.6	

## ■ 予算編成方針

愛別町は、平成29年度決算において、実質収支では135,056千円の黒字となっており、また、財政健全化法に基づき公表が義務付けられた4つの財政指標についても、実質公債費比率が5.7%（前年度比△0.2%）、将来負担比率が11.7%（前年度比△5.3%）と、いずれも国が定めた早期健全化基準の範囲内ではあるものの、地方交付税の減額、充当可能基金繰入額の増加により財政の硬直化は否めません。

近年の地方交付税については、算定人口の減少や町道の減少により、実質的な減額推移となっています。さらに、人口減少対策や公共施設等の老朽化対策費の増加も見込まれることから、年々多様化する住民要望に対応するための各種行政サービスの持続性確保に向けた取り組みが求められます。

平成31年度においては、「第10次愛別町振興計画」の最終年度となり、これまでの進捗状況の検証を十分に行い、基本テーマである『ふれ愛と活力豊かな、夢のある愛別(まち)づくり』の実現と将来を見据えた第11次愛別町振興計画の立案・実践に向けた施策への重点的な予算配分と、これまでの行財政改革による成果を継承しながらも、実践を反映させられる予算編成を行いました。

